

歴史的な町並みと
「小野川舟運プロジェクト」という
地域資源の活用により、
観光をテーマにした活性化を目指す

株式会社 ぶれきめら(千葉県佐原市)

佐原市中心街の位置



佐原市中心街の概要及び事業概要

- 佐原市は成田空港から**15** km、千葉県の北東部に位置し、利根川を挟んで茨城県に接する。人口は**5**万人弱。
- 江戸時代から利根川舟運で繁栄した商業都市。中心街には小野川が流れ、川沿いは重要伝統的建造物群保存地区になっている。
- こうした地域資源を活用して、広域圏から観光客を集客し中心商店街の活性化を目指す。
- 平成**14**年度に、佐原商工会議所が**TMO**として認定され、その事業主体として第**3**セクターの「株式会社ぶれきめら」が設立された。
- 平成**15**年度から、中心市街地の回遊性を高め来街者・顧客へのサービスを向上することを目的に「小野川舟運プロジェクト」に取り組んでいる。

佐原商工会議所
会頭 小森 孝一 氏へのインタビュー

Q. 佐原の町並みについて

- 佐原は、江戸時代から明治時代にかけて舟運で栄えた水の都。
- 平成8年に、国の重要伝統的建造物群保存地区に指定された。

Q. 水上循環バス運行事業に取り組んだ経緯について

- 昔の町並みであるため、車を止めることができない。
- そこで、車が止められて、安心して買物ができる街にするため、利根川の河川敷を活用して駐車場とし、小野川の舟で循環して街中を巡ってもらう。

Q. 「株式会社 ぶれきめら」について

- 民間の資本を**90%**以上投入して、町おこし会社「ぶれきめら」を設立。
- 第3セクター方式の会社であるが、公的資本は**5%**以内に抑えた、民間主導の会社。

株式会社ぶれきめら 常務取締役本部長 永野 光男 氏へのインタビュー

Q. 初期の事業内容について

- ・水上循環バス運行事業は、平成**15**年度、
16年度に国から支援を受けて実施。（商店街等活性化事業）
- ・平成**15**年度は**2**コース、料金は大人**500**円、小・中学生**300**円、幼児は無料。
- ・平成**16**年度は**4**コースに増やす。
 - ・ランチやティータイムを楽しめるコース（横利根閘門コース）
 - ・水上バスとレンタサイクルを連携させたコース

Q. 事業コンセプトは？

中・高年層の来街者、観光客をターゲットに、
おもてなしの心で『スローライフ』を提供。

Q. 商店街との連携について

- ・土・日は観光客が多いが、平日は少ない。そこで・・・
 - ・商店街と連携して、水上バスの乗船券がもらえるお買い物ポイント制度を実施。
 - ・スタンプラリーによって乗船券をプレゼント
- ・商店街の女性たちが『おかみさん会』を設立。
おかみさん会が主導して、佐原まちぐるみ博物館を展開。
(各店先に古い道具類などを展示。現在**28**店が実施。)

株式会社 正上
加瀬 順一郎さんへのインタビュー

Q. 店舗の紹介

- ・ 創業は寛政12年（1800年）、
店舗は天保3年（1832年）に建てられたもの。
- ・ 醤油醸造と惣菜（佃煮）製造

Q. 「水上循環バス事業」が実施されて
町に変化はありましたか？

- ・ 以前は、6月のあやめの時期に来街者が集中し、その他の時期は閑散としていた。
- ・ 水上バス事業が始まってからは、季節に関わらず平均的に来客があるようになった。

Q. 事業実施にともない 地域住民の意識に変化はありましたか？

- ・ 地域住民の観光や街づくりに対する姿勢が変わった。
- ・ 「今何か行動すれば、あるいは歴史的建物を保存・活用すれば街は活性化する」という意識が芽生え、この水上バス事業がリード役になっている。

合名会社 中村屋商店 中村 潤一郎さんへのインタビュー

Q. 店舗の紹介

- ・ 創業は明治7年（**1874年**）、建物は安政2年（**1855年**）。
- ・ もともとは畳の卸売業であったが、**21世紀のスタートを契機に、現在の和雑貨小物の販売業に業種転換した。**

Q. 事業効果として考えられる町の変化は？

- ・ 確かに観光客は増えており、
観光客が増えることによって、
地域住民の興味を引くきっかけになっている。
昔、この商店街のお客様だった方々が戻ってきている。

株式会社ぶれきめら 常務取締役本部長 永野 光男 氏へのインタビュー

Q. 事業が実施されて、街に変化はありましたか？

- ・ 来街者が増えたことによって、そのニーズに合った店舗が、空き店舗であった所に開業している。

Q. 事業がもたらすメリットは？

- ・ 事業実施にともない観光客が増えることによって、地域住民・行政・企業が一体となって、川をきれいにしようという意識が生まれた。

関連URL

株式会社ぶれきめら
(<http://www.kimera-sawara.co.jp/index.html>)